

7月

パシオン通信7月号

セキュリティよもやま話

セキュリティ委員 H・H

セキュリティ委員のHです。
 今現在、業務上ExcelVBAをガシャガシャといじっています。
 このVBA、正式名は皆さんご存じだと思いますが、「Visual Basic for Applications」と言い、Microsoft Officeに搭載されたのが1994年にExcel5.0に搭載されたのが最初といわれています。(Wikipedia調べ)
 当初は、このVBA、Excel以外のOfficeアプリにも搭載され、各アプリ間の連携が容易なため、かなり重宝されたりしていましたが、そのうち、VBAを利用したウィルスが開発されるようになり、VBAが搭載されているだけでOffice自体の利用に注意が必要だった時期もあります。Microsoftとしても、いろいろな方面からセキュリティに関しての指摘や訴訟などを起こされ、その対応を実施し、現在ではそれほど疎まれないマクロ言語になったのではないのでしょうか？と私は思っています。
 ですが、ここ最近、Officeファイルの拡張子が「97-2003」形式でなく、XMLベースになったことにより、セキュリティ問題は発生していないのだろうか？と考えるようになりました。少し前のビジネスマナーだと、作成した資料が「xlsx」であっても、Officeをアップデートしていないユーザのことも考えて、「xls」で保存し直してメールなりで提供するのがベターだとか言われていました。

ですが、ここで気になるのは「97-2003」形式でないと開けないというセキュリティ上問題がありそうな環境のユーザに対し、わざわざ古い形式のファイル形式にして提供するのは、セキュリティ上よいことなのか？ということだと思います。
 97年から03年といえば、OSであれば、WindowsNT4.0, WindowsXPの時代です。かなり古い形式といえます。その古い形式に置き換えて送信する。ビジネスマナー的にはOKなのでしょうが、セキュリティ的にはかなりNGです。
 「97-2003」形式のファイルに対応する、Office2003も2014年にサポートが終了しています。もし仮に、「xls形式にして送ってください」と言われたら、「御社はセキュリティについてどのようにお考えでしょうか？」位の皮肉をいっても良い位だと個人的には思うぐらいです。まあ、各現場で諸事情あるので一概には言えないのですが、技術者としては、「97-2003」形式のファイルを読むOfficeのサポートはすでに終了していることは認識しておくべきかと思います。
 また、今回上記内容を記述するにあたり、パシオン社内のドキュメントはどうだったか気になっているところです。もしも、「97-2003」形式がメインであれば、全体的に置き換え作業が必要かとも考えています。他にも上記のようなセキュリティについての問題点などありましたら、セキュリティ委員までご連絡ください。

目次	
セキュリティよもやま話	1
木を見ておいでです	2
ゲーム依存の境界を行く	3
コミュニケーションについての提言	4

平成30年春 応用情報技術者試験
 合格 新入社員 K・Kさん



合格の秘訣を聞いてみると、過去問題を中心に結構勉強したとのこと。努力の賜物ですね。
 まもなく秋の情報処理試験の受付も始まります。しっかり勉強して試験に臨みましょう。合格しますように。



木を見ておいでです システム開発1部 T・T

みなさまごきげんよう。「木を見ておいでですか」と問われたら、「ああ、木はいい」と返しましょう。春の桜に夏の緑、秋の紅葉に冬の枯木。山育ちのせいかもしれませんが、私は木を眺めるのが好きです。原生林やジャングルのようなワイルド派ではなく、神社や寺社や公園など、人が手をかけて維持している木が好きです。信仰であれ何であれ、誰かが長年努力して守ってきたことに感謝というか感動というか（エモいというやつかも！）。もともと神社や寺社は好きですが、よくよく思い返してみるとそのエモさを無意識のうちに重視していたようです。ご神木とかテンションあがりますので。

今回はお気に入りの中から、『明治神宮』の緑（木だけじゃないんで）をご紹介します。

■明治神宮

みなさまご存知、都会のど真ん中にあります大きな神社です。初詣の参拝客数は全国一を誇り、パワースポットとしても有名です。が、今回そこには触れません。

ここの特筆すべき点はなんと言っても「自然すぎる人工の林」にあります。樹齢〇年の老木、幹の直径数メートルの巨木、整然と並ぶ木、それはそれで良いのですがここにはそういったわかりやすいものはありません。山育ちの私でも自然林だと思ったほどのいわゆる普通さ、相当考えられて自然に近いように作られ維持されてきたのだと思います。さまざまな種類の木が混ざった、雑木林の中に道がある感じですよ。

幅の広い南参道脇は、あまり幹は太くないですが背の高い木が多くて上ばかり目がいつてしまいます（そんなのは私だけでしょうが釘付け）。



道幅の細い参道では一変して鬱蒼としており、強い日差しを木々が防いで日陰を作ってくれています。というか、もはや薄暗いレベルです。タヌキでもいそなものですが、残念ながら今まで見かけたことはありません。それにしても静かです。都会のど真ん中だというのに、車の音も電車の音も届きません。人がいな



いところは本気で人がいないので、人の声も聞こえません。

本殿前の両脇には立派なご神木。木の種類はわかりませんが、パセリのようなもっさり感が大好きです。ほれぼれ。



そして見るべき場所がもうひとつ、宝物殿方面のこの草原地帯のこの緑色。何度も言いますが、ここは都会のど真ん中、代々木と原宿の間です。それを忘れてしまうようなこの静けさ。吹き抜ける風も涼しく、お昼寝も気持ちよさそうでした。



ちょうど先日、夏越しの大祓（なつごしのおおはらえ）という神事がありましたので参列してきました。この半年の罪穢を祓い清めるものとして6月末日に行われ、誰でも参列できます。ですがなにぶん真夏日の真昼間に屋外で開催ということで、気温32度の中じっと日差しにさらされ続けたわけですよ。苦行です。滝のような汗とともに穢れも流されていったと信じて、今年の下半期を迎えたいと思います。



いつか「この木何の木」の木も見に行ってみよう。わくわくが止まりません。





ゲーム依存の境界を行く

システム開発1部 K・I

先日、いつものようにネットサーフィンをしていたところ、とあるニュースを見つけた。世界保健機関（WHO）が「ゲーム障害」を国際疾病と認定するらしい。これは1ゲーマーとしては見過ごせなかったので詳しく読んでみた。

簡単にまとめると、「1年以上の期間」で「日常生活に支障が出るレベルでゲームを優先する状態が続く」ことらしい。ここでの日常生活に支障が出るレベルというのは昼夜逆転したり、学校や会社に行かなくなる人のことを言うらしい。とりあえず自分はそんな状態にはなっていないので一安心。というよりもっと範囲が広いものと記事を読む前に考えていたため、思ったより範囲が狭くて驚いた。それでも、ゲームのプレイ人口の2～3%はゲーム障害だといわれているような。

さて、そんななかで自分のゲーム依存はどのくらいなのだろうか。明確な判断基準が存在しないので適当に考えてみることに。自分の粗探しをしているようで、正直あまり考えたくないがこれもいい機会だと無理やり納得することに。

まず単純に1日のプレイ時間について。流石に障害になるほど多くない。日によって時間にだいぶバラつきがあるが、大体3時間前後だろうか。正直、ネットサーフィンをしている時間のほうが長い。ネット依存症は・・・今回はノーカウントで。

この程度の時間ならまだ問題は無いかもしれない。だが自分の場合、3時間は家でのゲームの時間であり、ゲームセンターは別カウントである。現在の職場では、仕事帰りにゲームセンターに寄れる環境ではないので、基本休日のみではあるが、ゲームセンターに行くと基本4時間はやっている。合計7時間ともなるとちょっと依存気味かもしれない。とはいえ食事・睡眠等の時間は普通にとれているので、大丈夫な範囲だと考える。

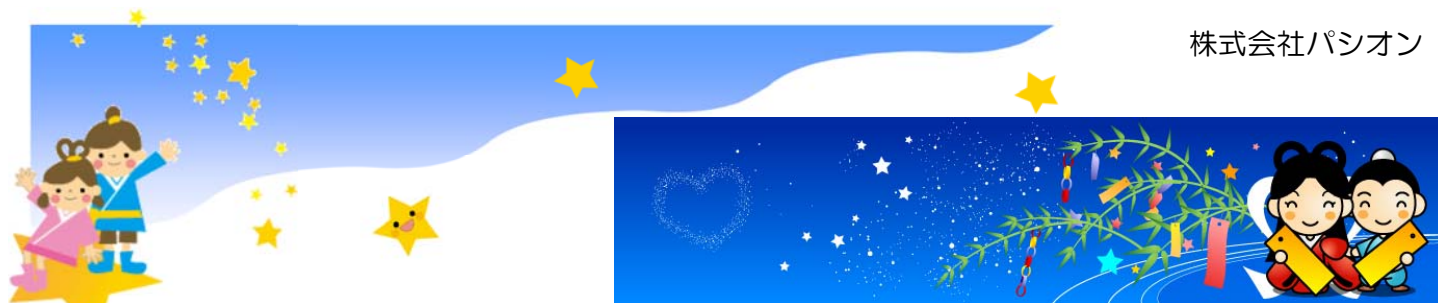
次に普段の生活態度にどれくらい影響しているか。という訳で会話の内容を振り返ってみると、基本、ゲーム談義はその話が合う人同士としか話さない。逆に趣味の合う友人との会話ではゲームやアニメ談義が中心、それでもってネットスラングばかり使ってい

る。ネットスラングの中にはゲームからとった言葉もあるが、ゲームだけではない。ゲームとアニメ談義は半々ぐらいなので依存とは言いがたい。ちなみにゲームとアニメ等は分けていいのかという考えもあったが、ゲームより依存の度合いが低いと考え、ゲーム依存とは一応別物であると結論付けた。よって生活態度の影響もそれほど問題は無い、はず。

全バトル成績				
戦績				
9252戦	4951勝	3989敗	302分	(勝率54%)
戦績詳細				
ソロ・パーティ内訳				
ソロ	6719戦	3512勝	3011敗	196分 (勝率52%)
パーティ	2533戦	1449勝	978敗	106分 (勝率57%)

最後に、ゲームにかけた金額についてだが・・・大体ですら値段が分からない。ソーシャルゲーム・ゲームセンター・家庭用ゲームに分けて考えても分からない。正直ここが一番考えたくない。だが、片鱗を知ってもらうためにあるゲームの対戦数を画像にあげておく。一応200円で3回戦えるが・・・。自分は趣味の値段と言い張ることにした。趣味なら仕方ない。

こうして考えてみると、一部怪しいがこれぐらいなら大丈夫な範囲ではないだろうか。尚、あくまでこれは一個人の考えであり、一例でしかないということを書き添えておく。



コミュニケーションについての提言 システム開発2部 O・H

私たちが仕事をする上で、欠かせないのがコミュニケーションです。私たちの仕事のほとんどは分業制であり、一つの仕事を完遂させるために、複数の人がかかわって進めます。この中で、分担、スケジュール、出来上がりのイメージを共有していかなければなりません。そこにコミュニケーションの必要性が生じます。

コミュニケーションの手段について言うと、会話が主体だと思いますが、個人的に仕事にそぐわないと思っていたチャットも、発信と同時に記録にも残る、その特徴を踏まえて上手に活用できている例を知りました。この結果、伝達、意思決定のスピード感が上がったように感じます。手段に関しては、今後もいろいろな形態に変化しつつ、最適な形に収れんしていくのでしょう。

一方でブレてはいけないことは、その目的を見失わないことです。コミュニケーションの目的とは、伝えたい内容を正しく確実に伝達することだと思います。内容に関しては、伝達すべき内容が5W1Hの要素でもれなく入っておりかつ、誤認しないように表

現されていること。これを相手に確実に届けるための手段を用いること。場合によっては、届いたかの確認を取ることも重要だと思います。そして、伝達した内容が相手に正しく理解されることだと私は考えます。いま一度自分を振り返って、できていること不足していることを認識し、さらなる改善を心がけることもありだと思います。

仕事をしていく上では、お客様や同業者等関連する方々、いわゆるステークホルダーと協力して行かなければなりません。とりわけ初対面の方と、一から関係作りをしていくことは正直大変だと思います。それでも、上手なコミュニケーションによって、仕事面はもとより仕事以外の部分でも、信頼関係を醸成できれば、仕事もより円滑に進むことを経験しています。

何かとこもりがちにイメージにみられるIT業界ですが、新入社員やコミュニケーションが苦手という方は、ITスキルと同じぐらい重要なスキルだと捉え、自ら発信することにチャレンジしてほしいと思います。

今年の宿泊忘年会についてのアンケートにご協力ください。

一人でも多くの社員に参加して頂きたく、どちらが参加し易いかのご意見をお伺いしています。

1案 11月9日(金)～10日(土)⇒ 金曜日仕事帰りに行けるような近場がよい

2案 11月10日(土)～11日(日)⇒ 土日ゆっくりと出かけた

現在のところほぼ半々です。1案の方からは特にコメントはありません。

2案を選んだ方からは、仕事帰りにスーツで往復するのは嫌だ。せつかくだから慌しいより、のんびりしたい。

行き先で遊びたい。皆で何かしたい(アプリを作る、ミッションをこなすなど)。という意見があります。

また具体的な場所が分からないとイメージがわからない。というご意見もありますが、日程を確定した後に検討する予定です。予定が空いているか空いていないかのアンケートですので気軽にdesknet'sにて回答いただきます様に、ご協力よろしくお願いたします。期限は7/9(月)までとなります。

また、秋にバーベキューも検討しています。

日程等決まりましたら早めにご連絡致しますので、忘年会と併せましてご参加の程よろしくお願いたします。

幹事：K&N

関東地方は、なんと6月に梅雨が明け、燦燦と太陽が輝き、昼間外に出るとあまりに暑くて融けてしまいそうです。急な暑さで体調を崩す人もいますようです。くれぐれも体調管理にご留意の上、元気に夏を乗り切りましょう！！

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いはこちらでございます様お願致します。